

レジレス研究会の設置について

I. 趣旨

現在、私ども食品スーパーマーケットの最大の問題は、人手不足であります。先般金沢で開催いたしました当協会の会員懇談会におきましても、各社トップの皆様方から深刻な人手不足の窮状が報告され、改めて事態の深刻さが良く分かりました。

協会では、この問題に対処するために、当面の人手不足対策と最先端の技術を最大限活用した中長期の省力化・生産性向上対策に分けて、昨年来取り組んでまいりました。

特に、生産性向上につきましては、安倍内閣の重点政策にも採り上げられておりますが、当協会では昨年11月に、協会内に「ロボット・AIの活用に関する研究会」を発足させ、IoT時代に対応した抜本的な業務の効率化・生産性向上の可能性を検討してまいりました。

そしてこの研究会での様々な議論を踏まえて、今年10月14日に開催されました当協会主催のアンニュアルセミナーでは、AIの活用について発表するとともに、具体的な展示説明会も行いましたが、その中で、将来の大きな課題としてレジをなくす、いわゆるレジレスの可能性について問題提起させていただいたところ、大きな反響をいただきました。

そこで当協会では、このレジレスに絞った研究会を以下のとおり新たに発足させることといたしました。

II. 具体的な内容

1. 名称

「食品スーパーマーケットにおけるレジレスの研究会（通称レジレス研究会）」

2. メンバー

「ロボット・AIの活用に関する研究会」のメンバーに加え、当協会の賛助会員中心にこのレジレスに関心のある企業および関連技術を持っている企業に広く呼びかけて内外の技術・ノウハウの結集を図る。同時に、通常会員企業にも働きかけて、業界全体のテーマとして共有し、この実現に向け協力をお願いする。

3. スケジュール

レジレス研究会は、コアメンバー中心に年内に発足するが、その他のメンバーについては、12月以降アンケート調査等を実施し、協力いただける企業の参加を促す。

<検討スケジュール>

1) 第1ステップ（平成29年1月～3月）

- ① レジ業務の人的費用およびレジ業務に従事する人員の現状
- ② レジ業務の効率化の試みと効果
- ③ レジレスの技術的な可能性と具体化の方法論（複数）の検討

2) 第2ステップ（平成29年4月～9月）

- ① 有力なレジレスの方法論（複数）について比較検討
- ② 実証研究
- ③ 成果について、10月のアンニュアルセミナーで発表

3) 第3ステップ（平成29年10月以降）

- ① レジレス事業化に取り組む企業（単独または共同）の研究
- ② 協会は会員企業の協力体制の構築
- ③ 協力企業の新店等における実証実験・モデル事業の実施

以上